

肯定力を鍛えよう

ありのままがすばらしい

第42回全国YMCA リーダー研修会

9月17・19日、東京YMCA野尻キャンプ場で、日本YMCA同盟主催の「第42回全国YMCAリーダー研修会」が東京YMCA主催で開催された。



基調講演「肯定力を鍛えよう！」要旨

成蹊大学法学部教授 塩澤一洋氏

私たちの日常生活では自分の意思で物事を決断し義務を負うことがあたり前ではあるが、現代の子ども達(多くは青年期)は「やらされ感」が大変強い傾向が見受けられ、自分で考えて決定することがなかなか出来ない。また、人の欠点や、あらを探る事が多くネガティブな思考が強い。本来、人間としては前に進んで行くことが大切でポジティブに物事を捉え考えたり、表現したりすることでそれが出来ていないこの日本の若者の将来に大いに危機感を感じる。

自分が人を肯定すればするほど相手は自分自身を認めてくれた、受入れてくれたと感じる。ポイントは常に「褒める」。褒めることで笑顔が生まれる。歯が見えるくらい笑う「スマイル函数」(造語)を増やして行く。すると、気持ちよく会話できる。そこには心地よい雰囲気ができる。そのような環境をリーダー会やプログラムでも多く作り、対象となる子ども達から受入れられ信頼が増し人間関係が円滑となっていくのではないかと同時にこのことはリーダーにとって、まさに現代の若者に足りない一面である「自分で考え、行動し、自分の言葉で表現できる」人格形成を作る上での良き成長のきっかけとなるのではないかと考えている。(編集 佐藤信也)

この課題を語り合った。基調講演で投げかけられた「肯定力」を意識し、話し合いは夜遅くまでキャンプのランブを囲みながら続いた。この全国リーダー研修会にて「仕える人」「仕えること」への掘り下げの第一歩へ繋がったと信じている。

参加者の立場で キャンプを体験

libyリーダー

大田 遼

ボランティアリーダーが、キャンプ体験を通じて、グループの仲間と2泊3日を過ごす全国YMCAリーダー研修会の仲間とのやりとりが、様々な個性を持ったグループ



執筆者のみなさん。左から、大田さん、黒澤さん、安藤さん、常定さん

生活を通しての 気づき、新発見

西東京センターリーダー 安藤絵理奈

野尻での生活は、一言でいうと温かかった。たった2日半で素敵な空間が作られたのは、みんなが周りの人の存在を肯定し、ありのままを受け入れていたから

仲間との関係作り 学べた貴重な体験

江東センターリーダー 黒澤 利恵

今回は4つのアクティビティーが設けられていました。その中でも私はトラペイズ・スウェーデンのクッパやカチカチなど初挑戦しました

「人との関わり」 再確認

リーダーOG 常定 三奈子

8年前、広島で開催された全国リーダー研修会に私

発達障がい児対象 秋の山中湖キャンプ

個性を存分に発揮して 三菱商事助成

発達障がい児を対象とした「三菱商事」東京YMCA秋の山中湖キャンプが、10月8日から10日に行われ、小学生から高校生まで44人が参加した。200名と自分に対する自信をつけて欲しいと願ってプログラムが組まれている。あらかじめ用意されたプログラムに、社員ボランティアにも参加していただいている。

このキャンプは、そんな子どもたちが気持ちを自由に表現し、他者に対する信頼と自信を高めるためのトレーニングも今年、このキャンプに初めて参加したスタッフに感想を聞いた。

「特徴」を活かす 環境づくりを

山手センター 桑原もえみ

「その子らしく居られる心地良い環境づくりの大切さ」を、秋の山中湖キャンプにおいて、教えてもらいました。

「特徴」を活かす 環境づくりを

山手センター 桑原もえみ

「その子らしく居られる心地良い環境づくりの大切さ」を、秋の山中湖キャンプにおいて、教えてもらいました。

「歌の会」を石巻で展開



仮設住宅に歌の輪広げて



震災発生から半年以上が経ち、東京YMCAが支援を続けている石巻市でも、避難所生活を続けてこれたばかりの方々が仮設住宅に移った。しかし仮設住宅では、大きな不安を抱えて新たな生活をスタートされる方が少なくない。数ある不安の中でも特に、仮設住宅が抽選によって割り当てられるため、隣近所の住民との関係性に対する不安を訴える方が多い。そこで仮設住宅住民の方々が集まり、コミュニケーションのきっかけとなるようにと、東京YMCAのコミュニティ活動として毎月都内で行っている「歌の会」を石巻市内の仮設住宅集会所で行った。

心からの「笑顔」を願う

会員 中内秀子

11月1日、小春日和の「東陽町Yの歌の広場」のボランティア5名、スタッフ3名が石巻市を訪れ、仮設住宅に住む高齢者の方々と「歌の広場」を開催。約40名の方が足を運んで下さり、楽しい会を行うことが出来ました。日帰りの強行プログラムでしたが、涙を流されながら歌っている方や「久しぶり

※「歌の会」は昭和の唱歌や童謡を歌う会で、南センター、町田YMCA、山手センター、東陽町センター等毎月行われている。

後、石巻でのプログラムをどうしていくか。大事なことは「継続」することです。石巻の復興は簡単なものではなく、多くの方が大変な生活を強いられています。これからの寒さも心配です。現地の声を聞き、長期的な支援が必要だと思います。雲ひとつない青空の中にあった巨大なガレキの山を見ながら、震災にあわれた方々の心からの「笑顔」を早く見たい、そう思った一日でした。